

## 第8学年 総合的な学習の時間 学習指導案

- 1 日時：令和4年10月13日（木）5校時
- 2 指導者：T1石本 有乃 T2寺本 嘉子 GT北谷 龍樹
- 3 学年：第2学年（男子8名 女子6名 計14名）
- 4 単元名：生き方学習～職場体験～

### 単元について

本単元は、全体計画に定めた「職場体験学習」を踏まえて構想したものである。総合的な学習の時間に行われる職場体験活動は、生徒が社会と関わり、自己の生き方を具体的、現実的なものとして考える探究的な学習として行われる。職場体験活動を通して、自分自身の特徴を内省的に捉えたり、周囲との関係で理解したりして、学ぶ意味や自己の将来について考えることが期待できる。

本単元は、「今の自分にとって『働く』とはどういうことか」をテーマに、地域にある職業を調べたり、地域で働く先輩方に「働く」ということについて話を聞いたり、実際に体験したりする活動を通して、単元の目標にある資質・能力の育成を目指すものである。

### 本学習を計画するための事前課題

本単元を学習するにあたって行った事前調査の結果は、以下の通りである。

問題内容	回答（全14名）
将来の夢や目標がある。	肯定的回答 78.6%（11名） 否定的回答 21.4%（3名）
「働く」ということについてどのようなイメージがあるか。	<ul style="list-style-type: none"><li>・人を支えているもの、役に立つこと</li><li>・難しい、大変、しんどい</li><li>・自分のしたいことを仕事にできるのはごく一部の人</li><li>・しないとイケないもの</li><li>・生きるため（お金を稼ぐため）</li><li>・楽しいこともあるけど、デメリットの方が多そう</li><li>・人間関係が大切</li><li>・生きがい</li><li>・自分の力を役立てることができる</li></ul>

#### <生徒の回答の分析から>

将来の夢や目標をもっている生徒はクラスの約8割を占めているが、その一方で約2割の生徒は将来の夢や目標などをもつことができていない。しかし、目標をもつことができていない生徒も自分の好きなことや得意なことを尋ねると、比較的スムーズに答えることができる。自分の好きなことや得意なことが将来につながることもあるという視点をもたせたうえで、この学習を進めていく必要がある。また、夢や目標をもっている生徒についても、さまざまな観点から自分の夢や目標について改めて考える機会を与えることで、1つの考えに固執しすぎず、自分の新たな可能性に気づき、将来の選択肢を広げることができるような学習にしていきたい。

また、学習前に「働く」ということのイメージを尋ねると、上記の回答のように、抽象的な答えやマイナスイメージのものが多かった。自分にとっての「働く」ということへのイメージをより具体的にしていくために、身のまわりで働いている人の体験談、実際に「働く」ということを経験した体験などから今の自分にとって「働く」ということはどういうことなのかということを考えさせたい。

## 課題の分析をふまえた指導改善のポイント

### ＜課題設定の工夫＞

今の自分にとっての「働く」とはということか自分なりの考えを具体的にもたせるためには、働いている人たちの経験談や、自分自身の体験からさまざまな価値観に触れるということが大切であると考え。そこで、単元を3次で構成する。1次では地域で働いている先輩方にお話を伺い、2次では職場体験、3次では今まで学んだことや体験を通して、今の自分にとっての「働く」とは何か考えさせる。ICTを活用し、自分の学習前と学習後の意見の変容も意識させ、今の自分の考えが将来どのように変わってくるのか注目してほしいことや、今「働く」ことについて考えたことで、将来の職業選択だけでなく、自分自身の生き方にも影響があるということを伝える。

### ＜ICTの効果的な活用や、個別最適な学びの指導の工夫＞

長期にわたっての学習となるので、自分自身が以前どのように考えていたかを振り返るために、ICTを活用する。また、学んだことをまとめたり、全員で意見を共有したりするときにも、効果的に活用していきたい。ICTを活用することで、ある程度個人のペースで意見をまとめることもでき、個別最適な学びにもつながると考える。そして、学習内容をどのようにまとめ、発表していくかを自分たちで考えさせることで、1人1人が何をすべきか理解して作業を進めることができるように指導を行う。

### ＜考えるための技法（思考スキル）を活用したかわり合う指導の工夫＞

- ① 多面的に見る… 自分の考えた意見を多面的に見たり、他の人の意見を聞いたりすることで、1つの問いに対しても、さまざまな考え方があることを知り、自分の考えを深めるきっかけにする。
- ② 比較する… 学習前の自分の考えと学習後の自分の考えを比較することで、様々な学習や体験が、自分の考えに変化をもたらすきっかけになることを実感させる。

## 単元の目標と評価規準

- 地域の仕事やその仕事に携わる人々に関する探究的な学習を通して、働くことの意味と自分自身の生き方との関わりに気付く、働くことの意味を自分との関わりで考えるとともに、今後の学習や生活の在り方に積極的に生かすことができるようにする。

生きてはたらく知識・技能	課題を解決し、発信する力	主体的に学び、協働する力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意味について、収入を得るため以外にも、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていることなど、人によって価値観は違い、それらは自己の成長とともに見いだすことができることに気付いている。</li> <li>・収集した情報を手際よく分類し、分かりやすい方法で表現している。</li> <li>・働くことの意味を考える学習が、将来の職業選択のみならず、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意味について、自分たちの考えと実際に働いている人々との考えの隔たりから、自分自身で課題を設定し、見通しをもっている。</li> <li>・他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。</li> <li>・相手や目的に応じて自分自身の考えをまとめ、適切な方法で表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。</li> <li>・仕事と自分との関わりに関心をもち、今後の学習や生活の在り方を積極的に考えようとしている。</li> </ul>

## 指導と評価の計画

(全31時間) 本時は 30/31

### ＜本質的な問い＞ なぜ僕らは働くのか

次	学 習 内 容(時数)	観 点 別 評 価 規 準				
		知	発	主	評 価 規 準	評 価 方 法
一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・僕らはなぜ働くのだろう。「働く」とは                      ということか考える。(1)</li> </ul>			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習のことについて積極的に考えようとしている。</li> </ul>	行動観察 ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で働く先輩方に学び、改めて「働く」とは                      ということか考える。(4)                      (地域おこし協力隊の方々と、北谷さんを                      招聘し、お話をして頂く。) ㊦</li> </ul>		◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「働く」ということについて、最初の自分たちの考えと実際に働いている人々との考えの隔たりなど、収集した情報を手際よく分類し、自分の考えをまとめている。</li> </ul>	行動観察 ワークシート ロイロノート
二	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験活動を行う。その際、「働く」                      ことのやりがい・大変なことは何かを                      意識しながら体験する。苦手なことにも                      挑戦する。(18)</li> </ul>		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。</li> <li>・他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類し、相手や目的に応じて自分自身の考えをまとめ、適切な方法で表現している。</li> </ul>	行動観察 日誌
三	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 職場体験で学んだことについてまとめる。(5) ㊦</li> <li>④ 改めて自分の将来のプランニングをする。(1) ㊦</li> </ul>	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した情報を手際よく分類し、分かりやすく表現している。</li> <li>・仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の生活の在り方を積極的に考えようとしている。</li> </ul>	行動観察 ロイロノート  行動観察 ジャムボード
三	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の自分にとって「働く」とは                      ということか考える。(1) ㊦【本時】</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意味について、収入のため以外にも、自分自身や人のためになっていることに気付いている。</li> </ul>	行動観察 ジャムボード 振り返り (スプレッドシート)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「働く」ということについて考えた意味を考え、今までの学習を振り返る。(1) ㊦</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意味を考える学習が、将来の職業選択のみならず、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることを理解している。</li> </ul>	行動観察 ジャムボード 振り返り (スプレッドシート)

【単元を貫く問い】今の自分にとっての「働く」とは？



# 本時の学習

## (1) 目標

今まで学習したことや、自身が体験したことを踏まえて、今の自分にとっての「働く」とは何か考えることができる。

## (2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 (生徒の予想及びその指導等)	評価規準 (評価方法)	ICT, 個別 思考スキル
<b>1 本時の目標を確認する。(つかむ・みつける)</b>			
○前時までの振り返りを 行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までの学習（「働く」ということに関する自分の考えの変異，職場体験活動のまとめ等）を振り返らせる。</li> </ul>		見通す
めあて：今の自分にとって「働く」とは何だろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に行った「将来，自分が働いている時のプランニング」「もし1億円あったらどう使う？」を確認する。友達の考えもみる。</li> </ul>		ICT
<b>2 本時の目標達成に向けた活動に取り組む。(解決する)</b>			
○前時に行った「プランニング」を友達の考えを参考にしながら練り直してみる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時は1人でプランニングをしたが，本時は，友達と自分の考えを共有し，再度，自分の将来の「プランニング」を練り直させる。</li> </ul>		ICT
○もしも自分が社会人になってから，宝くじが1億円当たったら，仕事を辞める？辞めない？	<ul style="list-style-type: none"> <li>より考えを深めるために，北谷さんから問いかけをして頂く。</li> <li>切り返し発問をすることで，より考えを深めさせる。</li> </ul>		ICT
<p><b>【発問】</b> もし社会人になって宝くじが1億円当たったら辞める？辞めない？</p> <p><b>【答え】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当分は生きていけそうだけど，老後のことを考えて辞めない。</li> <li>自分のプランニングでは〇年で1億円を使い切ることがわかったので，仕事は辞める。</li> <li>〇年は働かずに生きていけるけど，それ以降は働かないと生きていけない。辞めるか悩む……。</li> </ul>			
○1つの物は，いろいろな人の仕事でできているということを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の身の周りにある全ての物は，自分が想像しているよりもたくさんの方が関わってできているということを知り，それを北谷さんにお話しして頂くことで，どの仕事もなくてはならないものであるということに気付かせる。</li> </ul>		多面的に見る

3 本時の学習をまとめる。(まとめる)

○今の自分にとって「働く」とは何か考える。

- ・今まで学んできたことを生かし、今の自分にとって「働く」とはどういうことか考えさせる。その際、学習前と比べて自分の考えがどのように変わったのか意識させる。
- ・全員の学習前から学習後の意見を比較することで、ほとんど同じ学習をしてきたけれど、それでも1人1人「働く」ということに対する価値観が違うということに気付かせる。
- ・この短時間で「働く」ことに対して考えが変わったように、これから先、生きていく中で考えが変わっていくことを抑える。その時々自分の考えを大切にしてほしいことを伝える。
- ・「働く」とはどういうことかを考えることで、将来の職業選択だけでなく、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることを理解させる。

十分に満足できる状況 (A)  
今の自分にとっての「働く」とはどういうことか、今までの経験を基にして、学習前よりも具体的に自分の言葉で表現している。また、1人1人違う考えをもっており、価値観は人それぞれだということに気づき、周りとの交流のなかで、さらに考えを深めている。

おおむね満足できる状況 (B)  
今の自分にとっての「働く」とはどういうことか、今までの経験を基にして、学習前よりも具体的に自分の言葉で表現している。また、1人1人違う考えをもっていることに気付いている。

努力を要する状況 (C)  
にある生徒への手立て  
今まで学んだことを一緒に振り返り、「働く」ということについての自分なりの考えを表現させる。  
(思・判・表)  
(行動観察、ジャムボード、スプレッドシート)

ICT

比較する

【発問】

今の自分にとっての「働く」とは？

【答え】

- ・お金を稼ぐため (家族を養う、自分の趣味のため)
- ・お金は大切だけど、そのためだけではなく人の役に立つこと。
- ・自分がやりがいをもって働けることで、自分も周りも幸せになれること。
- ・コミュニケーション能力を高めていくもの。
- ・楽しいことだけではなく、つらいこともあるけど諦めずに挑戦していくこと。

まとめ：「働く」ことについて考えることが、将来の職業選択や今後の生き方に深く関わっている。  
「働く」ということについて、1人1人考え方は違い、また自分自身の成長段階によっても考え方はその都度変わってくるのが分かった。

4 本時の学習を振り返る。(振り返る)

○振り返りシートの記入を行う。

- ・今まで学んだことを基に単元全体の振り返りを書く。
- ・振り返りを交流する。

<p>振り返り：「働く」ということについて、今まで学んだことを基に、自分なりの意見を持つことができた。「働く」ということに対しての自分の考えがこれからどのように変わっていくか意識していきたい。「働く」ことを考えたことで、自分が仕事に求める条件は何か分かったので、職業選択をするときに、生かしていきたい。</p>			
<p>5 次時の学習内容を確認する。(つなぐ)</p>			
○次時の内容を確認する。			

## 板書

めあて 今の自分にとって「働く」とは何だろう。

今「働く」ということについて考えた意味は？



将来の職業選択につなげていくため



今後の自分自身の生き方に深く関わる